

令和元年度かいぼり結果概要報告【水元公園：散策池】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和元年 11 月 17 日
 【天 候】 晴れ、曇り
 【生物調査参加者数】
 ボランティア 9 人・関係者約 30 人

2. 結果概要

【水 質】 かいぼり直後、COD、BOD、T-P は減少しており、かいぼり後は、COD、BOD は減少が見られましたが、T-N、T-P はほとんど変化がありませんでした。SS は、かいぼり直後に減少し透視度も高くなりましたが、かいぼり後、SS は増加し、透視度はかいぼり前の値に戻りました。T-N、T-P がかいぼり前後であまり変化しなかったことや SS がかいぼり後に増加した原因は、流入水の水質や池の環境による影響などが考えられます。

【水生生物】 特定外来生物に指定されているウシガエルはかいぼり後に確認されておらず、生物捕獲により数を減らすことができたと考えられます。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和元年度		令和2年度
		かいぼり前	かいぼり直後	かいぼり後
調査日		R1.8.6	R2.3.12	R2.7.31
天候		晴	晴	曇
気温	℃	36.0	13.5	30.5
水温	℃	33.5	13	25
透視度	cm	47	> 50	46
ORP(酸化還元電位)	mV	+225	+381	+353
pH(水素イオン指数)		7.4	7.8	7.5
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	15	9.1	12
BOD(生物化学的酸素消費量)	mg/L	3.6	2.4	3.4
T-N(全窒素)	mg/L	0.77	1.03	0.75
T-P(全リン)	mg/L	0.054	0.029	0.055
DO(溶存酸素)	mg/L	7.3	11.1	5.2
SS(浮遊物質)	mg/L	7	1	12

捕獲した生物と個体数

和 名	令和元年		令和2年度	重要種		外来種 注3
	かいぼり前	かいぼり時	かいぼり後	環境省RL (2020) 注1	東京都RDB (2013) 注2 区部	
	R1.7.27	R1.11.17	R2.7.20			
ヒメタニシ		75				
エビノコバン	1	11				
カワリヌマエビ属	16	1,069	6			○
ヌカエビ		7,245			留意種	
スジエビ	70	6,830	11		留意種	
アメリカザリガニ	9	369	18			○
ギンブナ		232				
タイリクバラタナゴ		46				○
モツゴ	69	2,391	1			
ツチフキ		309				○
ドジョウ		2		NT		
カダヤシ	158	3,390	2			○
ヌマチチブ		4				
トウヨシノボリ類	19		8			
ヨシノボリ属		941				
カムルチー		1				○
ウシガエル	8	92				○
ニホンスッポン		1		DD	CR+EN	



かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト 2019 ※2 レッドデータブック東京 2013
 ※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと